

石山脩平 いしやま しゅうへい 教育學者、文學博士。明治二十一年十一月十八日（舊曆生乳、昭和二十五年六月十八日）歿（一九九一—一九六〇）。舊姓小林。昭和五年京都帝國大學文學部初等學科卒。東京高等師範學校教授、東京文理科大学教授を経て東京教育大學初代教育學部長となる。西洋教育史の研究、ユア・カリキュラム運動の指導等に力當る。

著書に、『新學習指導要論』（十二版、昭和十五年七月、二十日 日本文學堂）、『國民教育論』（昭和十五年十一月、二十五日 日本文學堂）、「東亞教育叢書」）、『新教育史論』（昭和二十一年四月、二十日 若竹書院）、『地域社會學校』（昭和二十四年十月、二十日 金子書房「教育學全書」）、『教育學』、『教育史學』乙竹岩若竹博士著書記念論文集』（合著、乙竹岩造先生著書祝賀會編、昭和二十七年十一月、日東洋館出版社）、『日本の運命と教育』（長田新合著、昭和二十八年十一月、二十日 牧書店「新教育新書」）等。『石山先生』徳文』（昭和二十五年十一月、二十日 石山脩平先生を偲ぶ会）刊。

